

「徳島県国土強靱化地域計画」新規追加項目(案)

重要業績指標				取組内容
・吉野川沼田地区の整備				吉野川上流の無堤地区の解消を図るため、美馬市・沼田地区の堤防整備に着手する。平成29年度は、用地調査及び設計業務の実施、平成30年度からは、用地買収を促進する。
現況	新規事業化 (H29)	目標	用地買収中 (H30)	
・早明浦ダム再生の促進				吉野川流域での洪水被害の解消に向け、堤防整備と合わせ、治水機能の増強を図る「早明浦ダム再生事業」の新規事業化について、国や関係機関との調整、国への提言を実施。平成30年度政府予算案に「早明浦ダム再生事業」が新規事業として掲げられたことから、今後、国、水資源機構(事業主体)と連携、協力し、事業を促進する。
現況	—	目標	調査着手 (H30)	
・土砂災害警戒区域の指定率				平成28年度に、土砂災害により被害が生じる恐れがある土地の区域を明らかにする基礎調査が完了した。今後は、ハザードマップの公表等、土砂災害に対する警戒避難体制の整備を図るため、その法的根拠となる土砂災害警戒区域の指定について、平成32年度完了を目指し取り組む。
現況	55% (H29)	目標	70% (H30)	
・「徳島県水道ビジョン(仮称)」の策定				大規模災害に備えた「事前復興の構築」による水道事業の強靱化を推進するため、本県における水道事業の将来像を明確にした「徳島県水道ビジョン(仮称)」を策定する。
現況	推進 (H29)	目標	策定 (H30)	
・地域高規格道路阿南安芸自動車道(海部道路)の整備と合わせた穴喰地区地域防災公園やそのアクセス道路の整備				阿南安芸自動車道(海部道路)の新規事業化に向け、海陽町と連携し穴喰地区地域防災公園とそのアクセス道路の一体的な整備を進める。 穴喰地区地域防災公園は、平成29年9月に、海陽町において公園の具体的なレイアウトを定めた「基本計画」を取りまとめたところ。また、そのアクセス道路は、町道を「県道久尾穴喰浦線」として一体的な整備を進めており、現在「詳細設計」を行っている。
現況	調査中 (H29)	目標	事業促進中 (H30)	
・徳島自動車道(阿波PA付近 延長7.5km)の付加車線設置				平成28年6月7日に、全国4箇所の「付加車線・設置検証路線」の一つとして徳島自動車道「徳島IC～川之江東JCT間」が選定され、平成28年8月25日には、本県の提言箇所である「阿波PA付近」に延長7.5kmの付加車線試行設置が決定した。西日本高速道路株式会社では、平成29年度に道路・橋梁等の調査・設計業務を行っており、平成30年度から工事に着手する。
現況	調査中 (H29)	目標	工事促進中 (H30)	
・四国横断自動車道 津田地区への追加IC設置、阿南ICへの追加ランプ設置				津田ICについては「徳島東・津田間」の平成32年度開通に向け、平成29年度は盛土工事に着手するとともに、年度内には橋梁下部工事に着手する。阿南ICへの追加ランプについては、現在、追加ランプ橋の橋梁詳細設計及び道路詳細設計を行っている。
現況	調査中 (H29)	目標	工事促進中 (H30)	
・四国横断自動車道 立江・檜湊地区への追加IC設置				四国横断自動車道 立江・檜湊地区において、地域活性化ICの実現に向け、平成29年度より「高速自動車国道法」に基づく「連結許可」に向けた作業に着手し、現在、早期の許可に向け、調査設計等を実施している。
現況	調査中 (H29)	目標	調査設計中 (H30)	